

一般質問

町政を問う!

第5日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



岡田 年弘議員 (7ページ)

- ① 2050年カーボンニュートラルへの取組について



小林 一男議員 (8ページ)

- ① 当町におけるDX（デジタル変革）の導入について



山口 菊一郎議員 (9ページ)

- ① 将来に向けた農地の利活用について



古谷 康典議員 (10ページ)

- ① 小中学校のトイレの洋式化について
- ② 体育施設への冷房施設設置について

次回の定例会は 3月4日からの予定です。

多人数の傍聴の際は事前に事務局へご相談ください。

議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

岡田年弘が問う

2050年カーボンニュートラルへの取組について



問 カーボンニュートラル実行計画策定に至った背景について

答 町長 今年6月の議会の町政運営方針の中で、カーボンニュートラルなどの新たな需要に応えられるよう、未来につながる持続可能な計画策定を行うと述べました。芳賀町においては、昨年12月に環境省から脱炭素先行地域に宇都宮市と共に指定を受け、さらにLRT開業を目前とした8月には宇都宮市・宇都宮ライトパワー株式会社・宇都宮ライトレール株式会社の4者による脱炭素連携協定を締結、再生可能エネルギーの積極的導入と有効活用を進めることとしました。

問 計画を策定するにあたり、他自治体と比較して特徴的なことは何か

答 町長 土地利用や人口・産業そしてCO₂排出量などについて、他自治体と比較して説明します。まず、土地利用については、町の面積の約半分が農地であり、その90%が優良農地であること、人口については自然増減は減少しているものの、社会増減は町外からの転入増が続いていることでは横ばいとなっていること、昼夜間人口比率が208%となり昼間の人口が夜間の人口の倍以上になっていること。産業については、自動車関連企業を筆頭に約100社の優良企業が工業団地内に立地していることなどが挙げられます。

問 策定中の計画の中身である骨子について

答 町長 計画の骨子と具体的な今後の取組計画についてですが、現在、町環境審議会に諮問し、今年度中に策定するよう進めています。

この計画には、国で策定を義務づけているCO₂排出量の削減を定める3つの計画を盛り込む予定です。

1つ目は、芳賀町全体の計画である通称、区域施策編、2つ目は役場の施設等運営管理の計画である

通称、事務事業編、そして3つ目は目的達成に向けた具体的な取組を記述する芳賀町新エネルギービジョンです。

この中では工業団地内企業への太陽光発電設備設置の誘導や余剰電力の工業団地内での利活用をはじめ、再生可能エネルギーの住宅や公共施設への導入促進などを検討しています。

問 第7次振興計画におけるカーボンニュートラル実現に向けた施策の位置付けについて

答 町長 現在施策を進めています第7次芳賀町振興計画ではカーボンニュートラルの推進として、施策に位置付け、分野横断的な施策の展開が必要としています。国においても、環境省をはじめ、国土交通省・総務省・農林水産省・経済産業省など連携した支援事業が用意されているため、これらの支援策を活用してまちづくりを進めていくことになります。

問 町民の皆さまへのカーボンニュートラルのPR、どのように展開していくのか。

答 環境対策課長 栃木県では脱炭素ガイドブックという本を作成しております。そういったものを町でも活用しまして、令和5年1月号とか令和5年7月号の広報はがで皆さまにお知らせしているところです。今後も広報やはがチャンネルで職員が図などを用いて説明していきます。

